

ランプ制御装置－第 1 部：通則及び安全性要求事項

正 誤 票

区分	位置	誤	正
本体	7.1 e)	定格入力電圧…入力電流及び <u>定格入力電力</u> は、製造業者の資料に記載してもよい。	定格入力電圧…入力電流及び <u>定格入力電力</u> 。 注記 1 <u>定格入力電力</u> は、製造業者の資料に記載してもよい。
	7.1 f)	注記 1 記号の用い方は…参照。	注記 2 記号の用い方は…参照。
	7.1 j)	注記 2 JIS C 8147-2-2 に…している。	注記 3 JIS C 8147-2-2 に…している。
	7.1 o)	注記 3 異常状態…不要である。	注記 4 異常状態…不要である。
	7.1 p)	注記 4 標準的な…必要はない。	注記 5 標準的な…必要はない。
	7.1 q)	注記 5 S の…16 000 である。	注記 6 S の…16 000 である。
	14.5	適合性は、14.6 に示す試験回路で、ランプを接続し、ランプ制御装置の外郭温度を定格最高温度 t_c にして、定格入力電圧の 0.9 ～1.1 倍の電圧を加えてランプ制御装置を動作させて判定する。そして、14.1～14.4 に規定した故障状態を、順次適用する。	14.1～14.4 の適合性は、14.6 に示す試験手順で、ランプを接続し、ランプ制御装置の外郭温度を定格最高温度 t_c にして、定格入力電圧を加えてランプ制御装置を動作させて判定する。そして、14.1～14.4 に規定した故障状態を、順次適用する。 注記 この細分箇条の目的は、試験電圧がランプ制御装置の供給電圧範囲内、又は単一の定格入力電圧の場合はその±5 %のいずれかの値とすることである。これはこの試験で高い入力電流容量を要求することを認めている。

平成 24 年 2 月 1 日作成